

## 第4学年 総合的な学習の時間学習指導案

富山市立熊野小学校

渡辺 純恵

### 1 単元名 われら 熊野川調査隊！

### 2 単元の目標

- ・ 熊野川での体験活動を基に、自分が調べたいテーマを設定することができる。  
(課題設定の能力)
- ・ 設定したテーマについて、自分なりの方法で調べ、結果を出すことができる。  
(問題解決能力)
- ・ 調べたことが相手に分かりやすく伝わるように、言葉や写真、図表の使い方を工夫してまとめることができる。  
(表現力)
- ・ 熊野川と自分との関わりを見直し、地域の川とどのように接していけばよいかを考えることができる。  
(自己を振り返る力)

### 3 単元について

#### (1) 児童の実態

3学年の総合的な学習の時間では、熊野校区を調べる活動を3つの小単元に分け、「調べる まとめる 伝える」という学習サイクルを繰り返し経験させながら、総合的な学習の時間の素地となる学習経験を積ませてきた。その結果、いくつかの課題例の中から自分で取り組みたいことを見つけて、活動を進めたり、課題解決に必要な情報を観察、取材などの方法で集め、自分なりに課題を解決したりする、総合的な学習の時間の初期指導を通して必要な力はついてきたと考える。しかし、聞き手のことを考えて、調べたことをわかりやすくまとめたり、話し方を考えたりする、といった表現力の面や、校区探検に出かけたり、地域の人とふれ合ったりすることを通して、熊野校区のよさを自分なりに感じることもできるといった、学習テーマに対する思いを高めるといった点ではまだ十分ではなかったと考える。

そこで、4学年での総合的な学習の時間である「われら 熊野川調査隊！」では、「熊野川が好き」「熊野川のために何かしたい」という気持ちを高めていくような学習展開にしていきたい。熊野川に対する気持ちの高まりが、もっと知りたい、探してみたいという子供の意欲を高め、主体的な追究につながると考える。

また、課題発見の力や課題解決の力、さらには表現力などの総合的な学習の時間の基礎となる力を高めることも、主体的な追究につながり、それが熊野川に対する気持ちの高まりを生むことになると考える。しかし、4学年はまだ、総合的な学習の時間の初期指導段階といえる。よって、単元構成、個別指導などの点で細かな支援を行っていきたい。特に、3学年時に不十分であった表現力の指導に関しては、調べてまとめたことを、伝える相手や方法に応じて発表することを通して、表現力を高める場を設定していきたい。

#### (2) 研究主題との関連

自ら課題を見付け、主体的に追究し、自分の生き方を考えていこうとする子供の育成を目指して(研究主題)
---

児童の実態をふまえ、熊野川に対する気持ちの高まりを促すための支援、総合的な学習の時間の基礎となる力を高めるための支援を単元構想、教師の支援、評価の3つの視点から考えることで、研究主題の解明を目指したい。

## 単元構想

### 【自分の取り組みや表現を振り返る場の設定】

単元の中に、自分の取り組みを振り返る場を位置づけることで、次への活動意欲につながり、その意欲が継続することで熊野川に対する思いも高まっていくと考える。この単元では、外部講師の話を聞く場と学校間交流を取り入れる。その意図は以下の点にある。

- ・ 外部講師の専門的な話を聞いたり、交流校の川に対する取り組みの共通点や相違点を知ったりすることで、自分の取り組みの足りない点やよい点に気付かせ、活動に対する意欲を高める。
- ・ 交流校と互いの取り組みについて発表し合うことで、互いの表現のよさに気付かせ、そのよさを自分たちの表現に生かすようにさせる。

### 【主体的な課題発見や課題解決を促す活動の想定】

主体的な課題発見や課題解決を促すことは、主体的な追究につながり、それが熊野川に対する気持ちの高まりを生むことになると考える。この単元では、以下のように活動を配列し、主体的な課題発見や課題解決を熊野川に対する気持ちの高まりにつなげていきたい。

- ・ 子供たちと話し合っただけで決めた共通テーマの下で熊野川を調べ、川を調べるという基礎体験を積み重ねるとともに、自分のテーマを設定しやすくする。
- ・ 熊野校区を流れる熊野川からもっと上流や下流の熊野川へと活動範囲を広げて、テーマについてより深く調べられるようにする。
- ・ 熊野川のためにできることを考え、実行することで、熊野川に対する思いを具体的な活動として表現できるようにする。

## 教師の支援

### 【振り返り機能を意識したワークシートの工夫】

単元で子供に意識させたい学習のポイントが埋め込まれるようにワークシートの内容を工夫する。それに記録を蓄積することで、それは、自分の取り組みを振り返ったり、自己評価したりするときポートフォリオとして活用できると考える。この単元では、「自分の追究の道筋」「熊野川に対する今の思い」の2点が明確になるようにワークシートを工夫し、追究や熊野川に対する思いの深まりに自分で気付いていけるようにしたい。

### 【個々の考えや思いを明確にしていくための個別指導】

子供たちは自分なりの根拠に基づいて、考えや活動を組み立てたり、熊野川に対する思いを高めたりしていくであろうが、それを的確に表現することは難しい。そのため、考えを友達に伝えようとしても伝えきれなかったり、友達と自分の考えの共通点や相違点を見付けられなかったりして、個々の追究の歩みが深まらない場合がある。子供が言葉にできない思いを引き出したり、気付いていない点に目を向けさせたりするためには、子供一人一人と向き合うことが何よりの支援と考える。このような個別指導は単元構成の中に位置付くものではないが、支援としては重要と捉え、有効な場面、助言、声かけを考えていきたい。

## 評価

### 【子供の学びを捉えるための教師の評価】

この単元では個別指導を大切に、子供の学びを捉えていきたいと考えているが、その他にも、毎時間ごとの学習活動から得られる学びとそれに対する簡単な評価を記録していくことで、評価の観点に沿った客観的な評価も試みたい。

### 【子供がよさや高まりを自覚できるようにするための自己評価】

ワークシートや毎時間の振り返りカードを利用し、自分の追究や熊野川への思いを記録させていきたい。その記録を基に、熊野川に対する思いを話し合う場や、これまでの取り組みを振り返る場を設定し、子供が自分のよさや高まりを自覚できるように支援を行っていきたい。

4 本単元にかかわる主な活動の歩みと活動計画（75時間）

【活動のねらい】

【学習活動】

【指導上の留意点】

第1次（30時間） 熊野川探検隊 ～熊野川のことを知ろう～

熊野川でのいろいろな共通体験を通して、熊野川に対する関心を高める。  
熊野川での活動をレポートにまとめて、学級や交流校の友達に発表し、自分なりに熊野川のよさについて考えることができる。  
熊野川での共通体験を基に、熊野川についての自分なりのテーマをもつことができる。  
自分のテーマに基づいて、熊野川を調べ、調べた結果を自分なりにまとめて、相手に分かりやすく伝えることができる。

熊野川で活動したいことを決めて、熊野川に出かけて活動し、熊野川の楽しいところやすてきなところを見つける。  
熊野川を調べる活動を、視点を決めて行い、いろいろな面から熊野川のことを知る。

- 熊野川の水はどんな水
- 熊野川に住む生き物
- 熊野川のゴミ調べ

これまで調べてきたことを振り返り、熊野川に対する気持ちを整理する。

- テーマを決めた共通体験を仕組むことで、川を様々な点から捉えられるようにし、個別のテーマを設定するための基礎体験となるようにする。
- 熊野川探検レポートでは、まとめるための項目を示し、分かりやすくまとめるようにする。
- 外部講師から話を聞くことで、自分が気付いていない点や専門的な取り組みのよさに気付かせる。
- 交流校と意見交換することで、自分たちの調べや表現について振り返る場となるようにする。

課外 熊野川自由研究

熊野川でのこれまでの活動を基に、熊野川について、もっと調べたいことを自分のテーマとしてもつ。

- 熊野川は生き物が住みやすい川かな。
- 熊野川にはどんな生き物がどれくらいいるかな。
- 熊野川にはどんなゴミがどれくらいあるかな。

自分のテーマについて、自分なりの方法で調べる。  
これまでに熊野川で調べたことをまとめ、熊野川のよさについて考える。

- 熊野川での活動や発見を「熊野川探検レポート」として、まとめる。

自分のテーマについてこれまで調べてきたことを発表し合い、互いの取り組みを知る。  
自分のテーマについて、国土交通省の方の取り組みと川に対する思いを、聞かせてもらう。  
熊野川に対する思いや自分の取り組みを振り返り、「熊野川調査隊」でそれぞれが調べていきたいテーマをもつ。【本時 28/30時】  
交流校と電子掲示板やテレビ会議で調べたことを発表し合い、熊野川と神通川を比べ、熊野川のよさについて考える。

- 活動の節目ごとに、子供と指導者が個別に話をする場を設定し、子供が明確にできていない思いや気付いていない視点に気付かせるよう助言する。
- 学習カードから子供の考えを捉えておき、子供に気付かせたい点を明確にした上で、個別に話をするようにする。
- 話し合い活動では、子供が個別指導で気付いたことを引き出せるよう、調べた結果だけでなく、そこから熊野川について考えたことや熊野川への思いも語らせるようにする。
- 活動の記録はワークシートに行い、自分の歩みを振り返りやすくする。
- ワークシートは、調べる課題、調べる方法、結果、結果から考えたこと、熊野川への気持ちなどが明確になるように項目立てやデザインを工夫して作成する。

第2次(30時間) 熊野川調査隊 ~熊野川をもっと深く知ろう~

自分で設定したテーマについて、調べる計画を立て、自分なりの方法で調べて、結果を出すことができる。  
調べたことをレポートにまとめて、学級や交流校の友達に発表し、熊野川のよさや足りない点について考え、熊野川のためにできることは何かを考えることができる。

熊野川での活動範囲を広げて、自分のテーマについて調べる。  
 ・熊野川を歩いて上流へとたどり、上流と下流のつながりを理解する。  
 ・自分たちの地域から約10km上流の流域で調べ、共通点や相違点を見付ける。  
 ・熊野川の源流付近や河口(神通川)付近で自分のテーマに基づいて調べ、場所による違いに気付く。  
 これまで調べてきたことをまとめ、交流校と意見交換する。  
 ・熊野川での活動や発見を「熊野川調査レポート2」として、まとめ、交流校と電子掲示板や直接交流で意見交換する。  
 意見交換したことを基に、熊野川のためにできる活動をテーマとして選ぶ。

・熊野川での活動の範囲を広げることで、これまで調べてきたことと比べたり、新たな発見をしたりして、設定したテーマが深まったり、広がったりするようにする。  
 ・学校間交流で情報交換することで、自分たちの調べを見直し、次の活動に生かせるようにする。また、発表練習や相手校の発表を聞くを通して、分かりやすく伝える表現方法を考えなくてはいけないことに気付せる。

第3次(20時間) わたしたちの熊野川 ~熊野川のためにできる活動をしよう~

調べた熊野川のよさを理解し、熊野川のために自分たちにできることを考え、活動することによって、熊野川に対する関心を高め、愛着を感じることができる。

選んだ熊野川のためにできる活動の計画を立てる。  
 (例)  
 ・ゴミ拾いや生活排水をきれいにするなど自分たちにできることをする。  
 ・校内や地域の人に呼びかけて、川をきれいにする活動をする。  
 ・パンフレットなどを作って、地域に配布するなど、川をきれいにすることを呼びかける活動をする。  
 熊野川への自分たちの思いを全校や地域に発信し、地域の方たちと関わりながら、その願いを実現していく。  
 ・全校児童や地域の方々に、自分たちの思いを分かってもらうためにはどうすればよいかを考える。  
 ・願いを全校や地域の方に発信し、その願いを実現していく。  
 川のために行った活動について、交流校と発表し合い、これから地域の川とどのように接していけばよいか討論する。

・「自分たちにできること」という行動目標を設定することで、それぞれの熊野川に対する思いを具体的な活動で表現できるようにする。  
 ・川とのこれからの接し方を交流校と討論することで、地域に対する思いを確かめる契機とする。

5 本時の学習 ( 28 / 75 時 )

( 1 ) ねらい

互いの取り組みを発表しあったり、国土交通省の方の話を聞いたりした結果、感じたことを話し合い、熊野川に対する思いや自分の取り組みを振り返ることができる。

( 2 ) 展開

予想される学習活動・子供の意識の流れ	教師の支援と評価の観点
<div data-bbox="156 434 858 533" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>熊野川研究発表会や国土交通省の方のお話を聞いて、どんなことを感じたかな。</p> </div> <p>1 熊野川研究発表会や国土交通省の方の話を聞くことを通して、感じたことを発表する。</p> <div data-bbox="161 645 858 1128" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自分の研究とちがうみんなの研究を聞いていると、自分が分からなかったことが分かって、自分の研究に付け加えることができたのでうれしかった。</li> <li>・ 国土交通省の方の話を聞いたら、自分が調べたことがない生き物についてたくさん教えてもらった。とてもよく分かったので、楽しかった。</li> <li>・ 国土交通省の方に教えてもらって、いろいろなことが分かった。最後に資料をもらってうれしかった。</li> <li>・ 国土交通省の人は、ぼくが知らないことをたくさん</li> </ul> </div> <div data-bbox="161 1173 799 1223" style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>熊野川のことをもっと、知りたいなあ。</p> </div> <div data-bbox="336 1245 695 1330" style="border: 1px dashed black; border-radius: 15px; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>どうして、熊野川のことをもっと知りたいの？</p> </div> <div data-bbox="161 1375 863 1742" style="border: 1px solid black; border-radius: 25px; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 熊野川探検を始めて、熊野川が好きになった。好きな熊野川のことをもっともっと知りたい。</li> <li>・ 熊野川は行く度にいろんな発見がある。だから、もっといろんな発見をしたい。</li> <li>・ ぼくは、魚が好きだから、魚のことにもっとくわしくなりたい。</li> <li>・ 熊野川で探検するのは、おもしろい。いろいろなことが分かれば、熊野川がもっとおもしろくなると思う。</li> </ul> </div> <p>2 本時の話し合いをふり返り、考えたことや、これから、自分のテーマとしていきたいことをカードに書く。</p>	<p>教師の支援と評価の観点</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 個別指導を通して、子供の熊野川に対する考えや思いを十分に引き出しておく。</li> <li>・ 熊野川のことをもっと知りたいという気持ちを引き出すために、以下のような思いを取り上げる。             <ul style="list-style-type: none"> <li>国土交通省や友だちの発表を聞いて、自分が知らなかったことを知ることができたことへの喜びや面白さ</li> <li>国土交通省の方が大変詳しく調べていることへの驚き</li> </ul> </li> <li>・ 熊野川研究や国土交通省の方のお話の具体的な内容が出てきたときには、資料を確認し、内容を共有できるようにする。</li> <li>・ 熊野川のことをもっと知りたいという気持ちを掘り下げること、熊野川に対する様々な思いを引き出す。</li> </ul> <div data-bbox="900 1615 1442 1731" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>熊野川研究発表会や国土交通省の方のお話を通して感じたことを発表し、伝えることができたか。(カード・発表)</p> </div> <div data-bbox="900 1787 1442 1944" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>今日の話合いから、自分なりに熊野川に対して何かを感じたり、考えたりすることができたか。(カード・ふり返りカード)</p> </div>

( 3 ) 視点

熊野川に対する思いや自分の取り組みを、話し合い活動の中で振り返らせるための手立ては適切であったか。